

8・15終戦記念日 街頭宣伝 終戦70年・「戦争しない国」の決意今こそ



恒例の「終戦記念日街頭宣伝」。今年も5名の市議がそろって、平和を訴えました。市内各地で声援が送られました。＝（8月15日）

戦争法案の施行前提に自衛隊が部隊編成計画

参議院安保法制特別委員会

「軍部の独走」
国会を無視した

戦争法案を審議する参議院安保法制特別委員会。日本共産党の小池議員が（8/11）取り上げた「自衛隊の統合幕僚が同法案の成立や施行の時期を前提に部隊編成などを計画した内部文書問題」で中断し、ようやく19日に再開し、防衛省はその存在を正式に認めました。

戦前の「軍部の独走と同じ事態が起こっていることは、安倍首相、中谷防衛省をはじめ内閣全体の責任が厳しく問われる

事態です。民主、維新も自衛隊内部文書の問題を追及し、「法的安定性は関係ない」などと暴言を吐いた磯崎首相補佐官の再度の参考人招致なども要求。政府・与党はこれに應じず、審議を急ぎたいとしながらも混乱を深めています。

日本共産党は、引き続き参院審議でこれら諸問題をただし、戦争法案廃案へ全力を尽くします。

海外メディア 厳しく批判 安倍談話

韓国 （安倍首相の）歴史認識に失望と怒りを感じる。（朝鮮日報）

中国 文脈や誠意では村山談話との違いが甚だしい。村山談話の“お詫び”の主体は「日本政府と全国民を代表する首相」だった。安倍談話は、間接的。そうしたやり方で世間を欺くことはできない。（人民日報）

ドイツ 首相が直接の謝罪を避ける狙いは「歴史に対する自らの評価を変えない」ためだ。（アルゲマイネ紙）

米国 安倍首相は、第2次大戦中の日本の行為について自らの言葉で謝罪するには至らなかった。（ウォールストリート・ジャーナル）

中東 戦没者追悼式で、「深い反省」を述べた天皇発言と対比し、「安倍氏自身の新たな謝罪の言葉はなかった」と批判。（衛星テレビ アルジャジーラ）

英国 恥すべき程なまでに（戦争の）日本の罪をきちんと向き合わなかった。（タイムズ）

外務省がホームページで「村山談話」削除

17日安倍談話発表の直前に、外務省のウェブサイトに「村山談話」が削除されていたことがわかりました。削除されたページは、村山談話を引用していた歴史認識や近隣諸国への謝罪についてなど。

これは、安倍談話の「子や孫の世代に謝罪を続ける宿命を負わせてはならない」などの、「安倍談話」と食いついて生じてはいない」と判断し、削除した」として外務省は近く、新たな説明文を掲載し直すとしています。

安倍70年談話

侵略・植民地支配への判断示さず 戦争する国づくりを宣言

7月15日出された安倍首相の戦後70年談話。国内外から批判の声が上がっています。

安倍談話は、これまで50年の村山談話、60年小泉談話で「日本が国策を誤り」「植民地支配と侵略」をおこなったと示した歴史認識は語らず、「反省」と「お詫び」も過去の歴代政権が表明したという事実には述べただけで、安倍首相自らの言葉としては述べませんでした。日本政府の見解として諸外国にも20年にわたり定着してきたものを、事実上捨て去った「安倍談話」は国際的な信頼も失墜させるものです。また、安倍談話で強調した「積極

平和主義」は日本をアメリカと一緒に「海外で戦争する国に」につくり変えるスローガンに他なりません。70年前「二度と戦争はしない」とした日本の決意は憲法9条にのりました。

日本共産党は、「戦争法案を許さない」という国民の共同を広げに広げ、国民世論で戦争法案を必ず廃案とするため、さらにみなさんと力を合わせ奮闘します。

戦争法案廃案！ 安倍政権退陣！

8.30国会10万人・全国100万人大行動

8月30日 日14:00～

場所：国会議事堂周辺ほか

主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

「戦争をさせない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」は、「8月30日の10万人国会包囲行動と全国100万人行動で、安倍政権をさらに追いつめ、戦争法案を廃案にするたたかいを」と呼びかけました。取手からも国会へ！！

8月23日（日）

10時から 取手福祉会館

「平和のつどい in 取手」

9月24日（木）

16時から JR取手駅前

「取手総がかり行動 パート3」

賛同者476名（8/18現）

県南水道議会 当局が答弁 「基本料金の引き下げ検討」

関戸勇議員は、霞ヶ浦導水事業・ハッ場ダムなどの水開発の無駄が、いかに水道料金に影響を及ぼしているかを質しました。県南水道企業団所長は、「水は足りている。これ以上の水開発は必要ない」と答弁し、さらに「県に対し、県水の引き下げを強く求めている」としました。

また、牛久選出の日本共産党市議は「水道料金の引き下げ」について一般質問。次長は「使用料が少ない世帯について見直し軽減する内容も検討中」とこたえました。日本共産党はかねてより、「基本料金が高いため、使用量の少ない高齢者世帯にはとりわけ負担をかける料金体系である」とし、見直しを求めてきました。一定の前進が見られた水道議会でした。

9月県議会(9月4~10月1日) 市議会(8月31~9月17日)

9月議会では初めての一般質問に立ちます。茨城県議会が不当にも質問権を制限し、議員が議会ごとに取り組む一般質問を制限しているため、今回はじめて私が質問することになりました。一般質問ではこれまで皆さんに公約してきた若者の雇用、東海第2原発の廃炉と子どもの放射能健康検査、高すぎる水道料金・国保税の引き下げ、県道の整備促進などを取り上げます。

先ごろ、私は大手電機メーカーで働く30代の男性から相談を受け一緒に県労働基準監督署に行ってきました。県が優遇して誘致した企業でもあり、勤務条件の改善や、月給わずか15万円という低賃金の解消を図るよう指導することを求めました。基準監督所もさっそく指導に動いてくれたものの、なかなか改善されません。これらの問題も含め、県民要求実現に県が務めるよう求め、県議会で正していきます。

県議会議員 上野たかし

9月市議会で取り上げる主な内容 8/31~9/17

- 加増みつ子 公立保育整備計画の結果がもたらしたものの。ウエルネスプラザのオープンに当たって。小中学校廃校後の跡地利用について
 - 遠山ちえ子 戦争法案、雇用問題、子どもの貧困など
 - 鈴木きよし 地域活性化(住宅リフォーム助成制度)、教育問題、防犯ステーションについて
 - 関戸 勇 戸頭東保育園について、介護保険、街路樹等管理ガイドラインを
 - 小池えつ子 国保税引き下げを、子どもの健康調査(放射能)、公園整備拡充
- ※ 共産党は再度「戦争法案廃案へ」の意見書を提出します。

保育士が足りない 定員に空きがあっても 入所できない

藤井市長は経費削減を理由に保育所を減らし、保育士を減らし、民営化を促進してきました。その結果、入所希望者がいても、保育所定員に空きがあっても、保育士の不足が理由で入所できない児童が増えています。7月1日現在、正規保育士は80人、非正規保育士は(正規保育士と同じ8時間勤務)61人。前年度と比較すると、正規は2人減、非正規は13人減となっています。その結果、入所を待機している児童は数十人にのぼるとみられます。市は「(非正規を)公募しても保育士が集まらない」と言っていますが、そもそも市は正規職員の募集にこそ真剣に取り組むべきです。市は「待機児数は国基準で判定すると3人」としています。「正規保育士を増やし、安心の子育てを図るよう」日本共産党は引き続き求めています。

来年、参院選から「18歳選挙権」

「どう思いますか?」…党実施のアンケートから

今、戦争法案を巡り、若者や高校生が「自由と民主主義を守れ」と自ら各地で行動し始めたことは、日本社会のこれからにとって頼もしく嬉しい変化です。来年実施の参院選から、選挙権年齢が「18歳以上」に引下げられることになりました。

18才以上の選挙権は世界の大勢であり、日本共産党は93年前の党創立時からこれを主張してきた党として、心から歓迎するものです。

みなさんに協力いただいた日本共産党実施の「市民アンケート」に840通の声が届きました。今回は来年の参院選から実施の18歳選挙権についての結果と声の一部をお伝えします。賛成が423名、反対・「20歳のままでよい」が321名、その他が73名で、52%の人が「18歳選挙権」に賛成しています。

- ◆子どもも政治に関心を持って日本の未来を考えるべきである。
- ◆多様な意見を集めることにつながるので賛成。
- ◆自分の国がどんなに大切かを若い人たちが知ることが大事。
- ◆早くから社会に目を向けて生活する意味で、若者の意識改革としてよい。
- ◆選挙に行かないと思う。政治に関心がない。
- ◆18歳からするには、もっと政治に参加するための勉強が必要だと思う。
- ◆もし、18歳を徴兵制に適用する条件なら反対。
- ◆教育の場で正しい歴史教育をしないのであれば反対。

被爆70年を転換点に 原水爆禁止2015年世界大会に参加 取手市議 小池えつ子



参加 8月4日~6日
開催 された世界大会に
した。広島に

10年前の世界大会「2005・核兵器廃絶の継承と決意の年」以来、2度目の参加となりました。私は、平和運動を柱に生きていこうと決意してから10年を振り返り、そして今、自分の得た役割の中で、確信を持って前に進む気持ちをかみしめる意義深い世界大会でした。

現在、被爆者の方の平均年齢が80代になり、語り継ぐことの難しさの中で、残された被爆者の方は勇気を振り絞ってお話しされ、もう二度と戦争は絶対にダメだと訴えました。「みんなが命やくらしが大事にされて、人生を生きていけることが幸せなこと。毎日の当たり前のくらしの原点は平和」を痛感した大会でした。